



HPはこちら

# 東日本ユニオン NEWS

JR東日本労働組合  
発責 情報・宣伝部  
2023年6月3日 No.620

## 2023年度夏季手当シリーズ⑪

### 東日本ユニオンへ寄せられたJR労働者の声 Part 2

- ★黒字になったのだから去年より多く出すべきだ。家族からは「いつになったら昔みたいに戻るの？」と言われた。それくらい家族は期待をしている。今の支給水準のままだと辞める人が増える。優秀な人材は集まらない。 (信越)
- ★社員はコロナ禍でも頑張ってきた。会社は、もっと社員を評価するべきだ。コロナ前の水準、特別措置の+0.3ヶ月は必要です。 (関東)
- ★業績は黒字になった。ご利用状況もコロナ前の9割まで回復している、ボーナスを出せない理由はない！今まで低く抑え込んできた分、今回は満額回答を出すべきだ。 (信越)
- ★ボーナスは「貰えるだけマシだ」と思っていました。東日本ユニオンの話を聞いて、私も黒字化に向けて頑張ったので年間6ヶ月のボーナスが欲しいと思いました。団体交渉頑張ってください。 (東北)
- ★他の会社で働いている学生時代の友人たちに比べて給料が低いです。コロナ禍で業績が落ち込んでも、会社を辞めずに歯を食いしばって頑張ってきました。ぜひ夏季手当の満額回答で報いて欲しいです。 (関東)
- ★コロナ禍や赤字業績で期末手当の低額回答が続いていた。黒字になったので、2ヶ月台の回答はありえない。 (関東)
- ★業績も回復している、社員も頑張っているので3ヶ月を出してもらわなければ困る。2係数分の減額を返して欲しい。「世間相場」とか「先行き不透明」とか、もう会社の言い訳は聞きたくない。 (信越)
- ★今回の夏季手当は、社員の頑張りで黒字を達成したのでコロナ前の水準に戻すべきです。そうでなければ、社員の心は離れていってしまう。 (東北)
- ★東日本ユニオンの要求している「主務職 100円、主任・指導・係職 200円の加算」について賛同できる。最近の春闘や処遇改善を見ていると一部の人に偏っている。社員は、みんな頑張っているのに納得できない。 (信越)
- ★光熱費・食費などの値上げで、出費がかなり増えたと実感する。ボーナスも生活費の一部。補填をしないと生活が厳しい。3ヶ月以上出すべきだ。 (信越)
- ★同期もかなり転職しています。自分も転職を考えました。今の状況では、先々不安なことが多いです。社員のモチベーション上げるために、ボーナス満額回答とか必要です。不安に感じている若手が職場にも多くいます。 (関東)